



一本道

相良中学校通信No.4

令和4年5月6日

校長 吉田憲一

1 生徒会によるあいさつ運動。「挨拶」は元気を測るバロメーター！

5月2日、朝の様子です。生徒会執行部で分担し、「あいさつ運動」を行っています。生徒会の活動として、「挨拶」を自分たちで高めようという意識、ありがたいです。



さて、よい挨拶が増えています。例えば、「背中への挨拶」「遠くからの挨拶」そして、「元気のよい挨拶」です。あいさつは、たった一瞬ですが、その人の元気を測るバロメーターとなります。

朝登校中に、元気な挨拶をする生徒には、共通点があります。それは、まず息を吸って、その息を言葉に変えているということです。多分、無意識でしょうが、挨拶の技術です。元気な挨拶は、将来にわたり「生きて働く力」となります。

2 生徒会長挨拶。気持ちがこもった言葉は、人を動かす！

5月2日、体育大会オリエンテーションが行われました。生徒会長の宮原くんが、次のようなことを話しました。

体育大会スローガンは、「挑戦 ～限界を越えその先へ～」です。(省略)

この1年を通して、今の相良中生の課題である「積極性」が改善できればと思っています。(省略)

赤と白と別れますが、1つのチームとして、一緒に盛り上げ、最高の体育大会にしましょう。



「気持ちがこもった言葉は、人を動かす」といいますが、聞いていた生徒たちも、体育大会へ向け、心が熱くなったようです。

3 「休まずに行く」＝継続は力なり！

以前、私が小学校6年生を担当していた時、学級目標の1つが「休むな」でした。少し過激な言葉ですが、その裏には、「継続は力なり」という意味を含めていました。

4月13日、2年生が個人目標を考えていました。2年生の荒瀬君の個人目標の1つは、「休まずに行く。」でした。素敵な目標です。

中学校3年間の集団生活は、自分の頭や体、そして心を磨く絶好の時期です。休まず続けることにより、苦しむときや悩むときも出てきますが、その時こそが成長しているときです。

4 「全校ダンス」スタート！

5月2日、全校ダンスの練習がスタートしました。ダンスリーダーの中野さんと吉本さん達の教え方が実にうまいのです。全体を動かすために、放課後も練習をしていました。



全体の動きを見て思ったのですが、いやいやながら踊っている生徒がいないのです。こういうのを「ポジティブ思考」といいます。プラスの心持ちです。また、グループでの教え合いや全体での通し練習もありました。ここでは、「チームプレー」が出ていました。素敵な練習でした。